

# ピックアップ 「中学生 数学教室」

「数学教室」を開設して7年目になります。きっかけは社会教育委員の会議で委員としての役割が話題となり、自分に出来る事で町民のために活動出来たらいいねという意見が出ました。

私は、今までの経験を生かし、子どももの家庭学習を支援する活動を考え、学校・教育委員会等の協力を頂き「数学教室」を立ち上げました。12月の開設当初は2年生4名、1年生3名で週1回の合同学習でした。

4月に1年生5名の希望があり、学年週1回に編成し、現在に至っています。

1学期中に1年生が14名に増え、個別指導が困難になり、個々への対応が難しくなったので、後列に自分で学習出来る集団を配置し、相互に教えあひながら学習を深めさせ、前列に指導の必

要な集団を配置し、黒板を使って学校の授業を再現して理解を深めました。しっかり理解して解けるようになるのと集中力が増し、自ら問題に取り組みようになり、自主性が高まってきました。

また、後列の生徒は他の生徒の考え方を知り、自分の考えに応用するなど相互に補完し合う学習へと発展していきました。

学年によって意識や学力の違いがありますので子どもに合った指導方法を模索しているところです。



子ども達の終了時の感想では、解けた時の喜びや集中力の向上、難しい問題に挑戦しようとする意欲などを成果として捉えていました。

保護者からは、学校以外で友達と学習出来る環境で分からない事をすぐ指導してくれるので学習が深まった事、日に日に子どもが変容していくのを実感したそうです。

今年から高校の宮澤校長先生が月に数回、数学の先生が余裕のある時に手助けをしてくださっています。私と異なる視点から解き方を指導してくれるので子ども達の学習能力が高まりました。

「数学教室」1回生が今年成人式を迎えました。成長した子ども達の立派な姿に感無量でした。

その中に将来、数学教師を目指している学生がいると聞いて、とてもうれしく思いました。

また、今年高校を卒業した生徒で、「数学教室」に通っていた2人の生徒が、数学教師になりたいと国立大学に合格したという朗報を聞き、感激すると共に、「数学教室」を続けていて良かったと思いました。



仕事を離れ、好きな事が出来る反面、充実感を味わうことの少なかった生活に、再び子ども達が登場し、世代を超えた交流を通して、一喜一憂しながら充実感・達成感を味わう事の出来る環境に出会えた事に感謝しています。

(社会教育委員 中楠 毅)